❸スポーツへのアクセス向上～普及・強化～　❻社会包摂と平和の促進～社会参画促進～

ラオス「障害者スポーツ普及促進プロジェクト」　2016年8月～2021年12月

パラパワーリフティングのピア・ラオパクディ選手

背景/課題

ラオスの地方に住む障害者の多くが、家族の庇護の下で外部との接触が限られる生活をしており、社会参加の機会が閉ざされている状況にある。障害者スポーツは、障害者が仲間と出会い、社会的自立に向けて自信をつける良い機会である。

目的

- 障害者スポーツの指導者を養成し、ラオス国内での競技スポーツ選手の育成と草の根レベルのインクルーシブなスポーツ(ユニバーサルスポーツ)の普及を進め、スポーツを通じた障害者の社会的自立促進に取り組む。

活動内容

- ラオスにおいて草の根及び競技障害者スポーツ指導者養成の仕組みをつくる。
- 競技(ユニバーサルスポーツ)普及のための環境、及び競技選手育成の環境を整える。
- 全国レベルでパラスポーツ選手を育成する。
- ラオス社会における障害者スポーツへの理解を進める。

成果

- ユニバーサルスポーツ指導者と競技障害者スポーツ指導者認定の仕組み、指導者養成カリキュラム、指導教本が策定された。
- 競技障害者スポーツ指導者と審判員の養成、選手育成プログラムの策定と選手への育成プログラムの実施により、障害者スポーツ指導者と選手の育成基盤が整備された。
- 競技スポーツ選手の学校訪問等の社会啓発活動、企業やマスメディア等に対する障害者スポーツの広報活動、政府関係省庁に対する障害者スポーツ振興活動の内容や成果を発表するセミナーの開催により、ラオスの障害者スポーツの理解が深まった。